

第3学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『盛岡市の様子』

(教科書：『小学社会3・4上』p.26～47／学習指導要領：内容（1）ア）

2. 小単元の目標

自分たちの住んでいる盛岡市の様子について、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを観察、調査したり、地図記号、八方位などを用いて白地図などにまとめたりして調べ、盛岡市の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
①盛岡市の様子に関心をもち、見学や調査活動を通して特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを意欲的に調べている。 ②盛岡市の様子の特色やよさを考えようとしている。	①盛岡市の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ②盛岡市の地域の特色を地形的な条件や社会的な条件と関連づけて考えようとしている。 ③盛岡市の様子は場所によって違いがあることについて考え、表現している。	①観察や聞き取り調査をしたり、地図や写真などの資料を活用したりして、盛岡市の様子について必要な情報を集めて読み取っている。 ②調べたことを地図記号や四方位などを用いて白地図にまとめている。	①盛岡市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物の場所と様子などを理解している。 ②盛岡市の様子は場所によって違いがあることを理解している。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

本学級の子どもたちは、前小単元「学校のまわり」の学習において、学校周辺の見学を行い、調べたことを交流しながら、土地利用の様子、建物の様子、交通の様子などの観点に沿って白地図にまとめる活動を通して、本校の位置する地区の様子を学んできた。その中で、今までとは違った社会的な見方で、自分たちの身近な地域をとらえ直そうとする態度が育ってきている。

また、学習前のアンケート結果からは、市内の盛岡駅、盛南地区、内丸周辺地区には、実際に行ったことがある児童が多く、そこにある施設を利用した経験から大まかな様子についてはとらえている子どももいることがわかった。しかし、実際に見たことがあっても、利用したことのある施設だけに着目し、地域の様子を地形や土地利用の様子、交通の様子といった観点からとらえてはいない。また、市の中心部から離れた地域の様子は、ほとんど知らないという子どもが多かった。

そこで、本小単元の学習では、地区の特色を、観点に沿ってまとめる学習を積み重ねたい。見学で見聞きしたことを生かし、地図や写真、グラフなどの資料を根拠にして、観点に沿って整理しながら、自分たちが住む盛岡市の特徴をとらえさせていきたい。

(2) 教材について

岩手県盛岡市は、面積の大部分を山地が占め、平地は北上川流域の狭い地域にあり、そこに人口の大半が集中している。市内には、北上川、中津川、雫石川等の河川が流れ、市街地は平地に多く形成されている。学習材として扱う各地区の特色をまとめると下の表のようになる。

	内丸地区	盛南地区	太田地区	盛岡駅周辺	繫地区
土地の様子	○平らな土地。 ○中津川が近くに流れている。	○平らな土地。	○田畑が多い。 (特に水田)	○近くに北上川と雫石川が流れている。	○森林と湖に囲まれている。 ○温泉がある。
建物の様子	○高く大きな建物が多い。 ○県庁や市役所など役所が多い。 ○古くから残る建造物がある。	○住宅が多い。 ○大きなお店が多い。 ○たくさんの大きな施設がある。	○建物が少ない。	○高い建物が多い。 ○店や宿泊施設が多い。	○温泉宿泊施設がある。 ○観光施設がある。
人の様子	○仕事をしている人が多い。	○住宅地が集まっているところに人が多い。 ○買い物客が多い。	○人の姿が少ない。	○仕事や買い物に来る人が多い。	○観光客が多い。
交通の様子	○広い道路がある。 ○バスがたくさん通っている。	○広い道路がある。	○交通量が少ない。 ○農道が多い。	○鉄道・バス・タクシーの発着点である。 ○交通量が多い。	○道路はあまりない。

( 部分を各地区の特色として取り上げる)

以上の特色ある地区の様子を調べ、地区どうしの相違点や共通点を比べ合う学習を行うことで、盛岡市の様子をとらえ、場所によって違いがあることを考える力を育てることができる。と考える。

(3) 指導上の工夫・留意点

本小単元では、はじめに航空写真や地図から、盛岡市の様子について関心を高め、学習問題を設定する。盛岡市の様子について、場所によって違いがあるかどうかを子どもたちの生活経験をもとに考えさせ、学習の見通しをもたせていく。その際、前小単元での学びを生かして観点をしぼり、予想させていきたい。追究する段階においては、実際にバスに乗って市内見学（盛岡駅周辺、内丸地区、盛南地区、太田地区、繫地区）を行う。そして、見学した地域を中心に上げて、地域の様子や特色をとらえ直していきたい。さらに、単元の終わりには、盛岡市の様子を紹介地図（ガイドマップ）にまとめて、家庭に向けて発信する活動につなげていきたい。

また、社会科の入門期であるので、調べたことを白地図にまとめたり、資料や観察したことから類似点や相違点を整理したりする活動を重視することで、発達段階にあった社会科の学び方を身に

つけさせていきたい。そして、五つの地域の様子をとらえる学習を重ねながら、「盛岡市には、さまざまな場所があり、それぞれの地形や土地利用、交通の様子など、市内の様子は場所によって違いがある。」と考えられるようにしていく。そして、自分たちの住む盛岡市域という社会的事象をとらえ直すことを通して、盛岡市の「よさ」と、地域への誇りと愛情を意識するきっかけとしたい。

5. 小単元の指導計画（総時数 14 時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① (つかむ)	盛岡市の航空写真を見て、学校の周りの地区の位置を確かめるとともに、盛岡市全体の様子にも関心をもつことができるようにする。	○盛岡市の航空写真を見て、学校の周りの地区の位置を確かめる。 - わたしたちの学校は、盛岡市の中心部にある。 ○盛岡市の航空写真を見て、知っている建物や特徴ある建物、自然などについて発表する。 - 公共の施設が集まっているところがある。 - 岩手山や北上川、中津川などがある。 - 商店が集まっているところがある。 ○盛岡市の航空写真を見て、土地利用などの様子について気づいたことを発表する。 - 盛岡市の東側は土地が高い。 - 盛岡市の東側は果樹園が多い。 - 北上川の西側の平地には田畑が多い。 - 盛岡駅の周りには建物が多い。 わたしたちの盛岡市は、どのようなところなのだろう。	◎盛岡市の様子（航空写真） ◎学校周辺の様子（地図） ◆盛岡市の形や大まかな地形の様子、さまざまな場所の様子について関心をもち、意欲的に調べようとしている。 （関・意・態／発言・ノート）
② (つかむ)	盛岡市の地形図を見て、さまざまな場所の様子の違いに気づき、盛岡市の様子に関心をもち、学習問題を考えることができるようにする。	○盛岡市の地形図を見て気づいたことを話し合う。 - 盛岡市は鳥の形に似ている。 ○盛岡市のさまざまな様子に関心を持ち、学習問題を設定する。 - 知っている地域と知らない地域がある。 - 場所によって様子が違いそうだ。 わたしたちの盛岡市は、どのような場所があり、どのような様子なのだろう。	◎盛岡市の形（地形図） ◆地形図から盛岡市の地域の様子を予想している。 （思・判・表／発言・ノート）

③ (つかむ)	盛岡市の様子を調べる計画を立て、見学する地域の様子を予想し、見通しをもつことができるようにする。	○見学する地区の様子を予想する。 ○盛岡市の見学の仕方や内容をつかむ。 見たいこと、知りたいことを整理して見学の計画を立てよう。	◎盛岡市の地域の様子（地図） ◎見学の仕方と内容（見学ノート） ◆盛岡市の地域の様子を予想し、見学の計画を考えている。（思・判・表／発言・ノート）
④ ⑤ (調べる)	盛岡市内めぐりを行い、見学シートに調べたことをまとめることができるようにする。	○盛岡市内めぐり（見学）を行う。 ○以下の地区で、観察やインタビュー活動を行う。 五つの地域はどのようなところなのか、見て、聞いて調べよう。 (1)内丸地区 (2)盛岡駅周辺 (3)盛南地区 (4)太田地区 (5)繁地区	◎見学ノート ◆観察や聞き取り調査をし、盛岡市の様子について必要な情報を集めて読み取っている。（技／見学ノート）
⑥ (調べる)	内丸地区の特色を、社会的な条件から考えることができるようにする。	○内丸地区の様子を話し合う。 内丸地区は、どのようなところなのだろう。 ○航空写真や地図で内丸地区の建物の様子について調べる。 ○写真から、県庁や市役所、盛岡城跡公園や桜山神社について調べる。 ○内丸地区の特色をまとめる。 ・内丸地区は県庁や市役所などの公共施設が多く、働く人が多いところ。	◎内丸地区の様子（航空写真・地図） ◎県庁や市役所、盛岡城跡公園や桜山神社（写真） ◆盛南地区の特色を、建物や交通の様子、新興住宅地であることから考えている。（思・判・表／発言・ノート）
⑦ (調べる)	盛南地区の特色を、社会的な条件から考えることができるようにする。	○盛南地区の様子を話し合う。 盛南地区は、どのようなところなのだろう。 ○航空写真や地図で盛南地区の様子を調べる。 ○過去と現在の盛南地区の地図の比較から、盛南地区が大きく変化している地区であることを知る。 ○盛南地区の特色をまとめる。 ・盛南地区は、幅の広い道路のそばに大きな店が多く、住宅が多いところ。新しいまちづくりが進んでいて人口が増えている。	◎盛南地区の様子（航空写真・地図） ◎大きな店の様子（写真） ◎交通の様子（グラフ） ◎盛南地区の過去の様子（写真・地図） ◆盛南地区の特色を、地形や土地利用の様子から考えている。（思・判・表／発言・ノート）

⑧ (調べる)	太田地区の特色を，地形的な条件から考えることができるようにする。	○太田地区の様子を話し合う。 太田地区は，どのようなところなのだろう。 ○航空写真や地図をもとに，太田地区の様子を調べる。 ○土地利用図を見て，土地の高さや近くに雫石川があることから水田が多いことをとらえる。 ○太田地区の特色をまとめる。 ・太田地区は，平らな土地と豊かな水を生かして水田が多く，米作りが盛んなところ。	◎太田地区の様子 (航空写真・地図) ◎水田と水の関係 (水田の写真) ◎太田地区の土地の様子 (土地利用図) ◆太田地区の特色を，地形や土地利用の様子から考えている。 (思・判・表／発言・ノート)
⑨ (調べる) 【本時】	盛岡駅周辺の特色を，社会的な条件から考えることができるようにする。	○盛岡駅周辺の様子进行話し合う。 盛岡駅のまわりは，どのようなところなのだろう。 ○映像資料や見学でのインタビューから，駅の利用者の様子をとらえる。 ○路線図から交通の様子をとらえる。 ○地図で駅周辺の建物の様子を調べる。 ○盛岡駅周辺の特色をまとめる。 ・盛岡駅は，五つの路線が集まる大きな駅であり，利用者が多い。その周りには，たくさんの高い建物が集まっているところ。	◎盛岡駅を利用する人の様子 (映像) ◎盛岡駅の交通の様子 (路線図) ◎盛岡駅周辺の建物の様子 (写真・地図) ◆駅のまわりについて，人の様子や交通の様子，建物の様子を結びつけて特色を考えている。 (思・判・表／発言・ノート)
⑩ (調べる)	繫地区の特色を，地形的・社会的な条件から考えることができるようにする。	○航空写真や地図をもとに，繫地区の様子を話し合う。 繫地区は，どのようなところなのだろう。 ○繫温泉の様子をガイドブックで調べる。 ○繫温泉を訪れる人の目的を知る。 ○繫地区の特色をまとめる。 ・繫地区は，五所湖などの自然に囲まれ，温泉が多く，たくさんの観光客が訪れるところ。	◎繫地区の様子 (航空写真) ◎繫地区の土地の様子 (土地利用図) ◎温泉を利用した観光地 (温泉のガイドブック) ◆繫地区の特色を，豊かな自然に囲まれていることと温泉街であることから考え，表現できる。 (思・判・表／発言・ノート)

⑪ (まとめ)	学習したことを整理して白地図にまとめることができるようにする。	○これまでの学習をもとに、それぞれの地区の特色を振り返る。 わたしたちの盛岡市は、どのような場所があり、どのような様子なのか、地図にまとめよう。 ○白地図にまとめるために必要な地図記号を確認する。 ○盛岡市の白地図を活用し、学習してわかったことをまとめる。	◎盛岡市の白地図 ◆調べてわかったことや地図記号など必要な情報を、方位を確かめながら記入することができる。 (技／白地図・ノート)
⑫ (まとめ)	盛岡市の様子は場所によって違いがあることについて考え、適切に表現することができるようにする。	○これまでの学習をまとめた地図をもとに、盛岡市の地域の様子を比べ合い、場所によって様子の違いがあることを考える。 五つの地域の特色を比べて、盛岡市の様子を考えよう。 ・盛岡市には、さまざまな場所があり、それぞれの地形や土地利用、交通の様子など、市内の様子は場所によって違いがある。	◎盛岡市の様子（前時の地図） ◎地区と特色のマトリクス表 ◆盛岡市の様子は場所によって違いがあることについて考え、適切に表現している。 (思・判・表／発言・ノート)
⑬ ⑭ (深める)	ガイドマップの作成を通して、盛岡市の特色やよさをまとめることができるようにする。	○盛岡市の特色やよさをアピールする紹介文を考える。 ○紹介文と前時に作成した地図をもとに、ガイドマップを作成する。 ○作成したガイドマップを発表し合い、盛岡市を訪れた人への発信の準備をする。 ・学習したことから盛岡市のよさがわかった。家の人に伝えたい。	◎盛岡市の白地図 ◎盛岡市ガイドマップ ◆盛岡市の様子の特徴やよさを考えようとしている。 (関・意・態／ガイドマップ) ◆盛岡市の特色や、盛岡市の様子は場所によって違いがあることを具体的に理解している。 (知・理／ガイドマップ)

6. 本時の指導（第9時）

（1）本時のねらい

写真や地図等の具体的資料の読み取りやインタビューをもとに話し合う活動を通して、駅を利用する人の様子や、駅のまわりの交通や建物の様子、その特色を考えることができるようにする。

（2）本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
5	○単元の学習を振り返り、本時の学習問題を確認する。T：盛岡市内めぐりのバスは順調に運行しています。今日はどこの地区を学習しますか。 C：盛岡駅のまわりです。 T：では、今日の学習問題は何ですか。 盛岡駅のまわりは、どのようなところなのだろう。	◎前時までの学習内容（掲示） ◎駅のまわりの様子（写真）◇盛岡市の地図と前時までの学習内容を掲示しておき、見学バスのペーパサートを用いて振り返る。単元の学習問題を解決するために、各地区の特色をとらえてきていることをおさえる。
30	○見学をもとに、予想をする。 T：学習問題に対する予想を立てます。盛岡駅のまわりは、どのようなところでしたか。 C：道路が広く、交通量が多いところです。 C：バスやタクシーが多いところです。 C：駅なので、電車も多いと思います。 C：建物が多いところです。 C：高い建物がたくさんあるところです。 C：人がたくさんいました。 T：予想をみんなのものにしていきましょう。それぞれ、予想の理由を確かめましょう。 C：わたしは、見学した時に展望室からたくさん高い建物を見ました。ホテルが多かったです。 C：たくさん線路が見えたので電車も多いと思います。タクシーやバスもたくさんありました。 C：みんなが言ったように、電車やバスも多くて建物も多いので、人だて多いと思います。 ○駅を利用する人の様子についてとらえる。 T：では、予想のうち、まずは人の様子について考えましょう。みなさんが見学した時の様子はどうか。 C：多かったです。	◇予想はノートに書かせ、自分なりの考えをもたせる。 ◇様子を調べる際の四つの観点をもとに、地区の様子を予想させる。 ◇机間指導をしながら子どもたちの考えを把握しておき、意図的な指名など、以後の活動に生かしていく。 ◇予想の根拠について話し合い、個人の予想を、学級全体のものとして位置づけていく。 ◎駅を利用する人の様子（写真） ◇見学時のインタビューの様子を想起させることで、予想に根拠をもたせる。そのうえで、人の様子のとらえ方にずれが生じるとわれ

C：ぼくは、少なかったと思います。混雑しているようには見えませんでした。 T：みなさんの混んでいるというイメージはどのようなものですか。 C：運動会で校庭に人がたくさんいる感じです。 C：行列ができて並んでいる感じです。 T：見学の時は、混雑していましたか。 C：していないと思います。 C：おかしいなあ。多いのだろうか。少ないのだろうか。わからなくなりました。 T：これは、別の時間の盛岡駅の様子です。どうですか。 C：うわあ。とても混んでいます。わたしたちが見学した時と違います。 C：時間帯によって違うんじゃないかなあ。 C：とてもたくさんの方が利用しているよ。 T：一日に盛岡駅を利用する人の数です。 （「37,566人」の部分のマスキングして提示する） C：うわあ、多い。たくさんの方が利用しています。 ○交通の様子についてとらえる。 T：どうしてこんなにたくさんの方が利用するのでしょうか。この路線図から考えましょう。 C：盛岡市内の他の駅と比べると、盛岡駅だけにたくさんの路線が集まっています。 C：路線が5本も集まっています。新幹線も通っています。 C：路線が東京や秋田などの他の地域につながっているので、遠くからも人が来ることができます。 C：わたしがインタビューした人も、東京から来たと言っていました。 C：路線が集まって、たくさんの地域とつながっているから、利用する人も多いのだと思います。 T：盛岡駅の外の様子はどうでしたか。 C：バスやタクシーがたくさんありました。盛岡に電車で来た人が、さらに移動するために利用するのだと思います。だから多いのだと思います。 ○駅のまわりの建物の様子についてとらえる。 T：次は駅のまわりの地図から建物の様子について考	る内容から考えさせる。そうすることで、子どもの中に追究したいという疑問をもたせる。 ◎混雑時の駅の様子（映像） ◇見学時の体験と、駅の混雑時の映像の比較から、問題意識を高めるとともに、時間帯によって利用者数が変わることをとらえさせる。 ◇1日の平均利用者数（37,566人）から、たくさんの方が盛岡駅を利用していることをとらえさせる。 ◎盛岡駅の路線図 ◇路線図をもとに、盛岡駅にはたくさんの路線が集まっていることや、近隣の市との結びつきに気づけるようにする。 ◇見学時のインタビューの様子を把握し、意図的に指名することで、インタビューの経験と路線図から読み取ることのできる事実を関連づけられるようにする。 ◇利用者数が多い要因として路線図からわかったことと、バスやタクシーなどの交通機関との関連をとらえられるようにする。
---	---

	えましょう。高い建物に色をぬりましょう。どんなことに気づきますか。 C：駅の周りには高い建物が多いです。写真や地図からも、高い建物が多いことがわかります。 C：ホテルがたくさんあります。 ○盛岡駅の周りにホテルが多い理由について、人の様子や交通の様子と関連づけて考える。 T：盛岡駅の周りには、なぜこんなにホテルが多いのでしょうか。 C：ホテルが近いと、東京など遠くから来た人がすぐに泊まれるからです。 T：ホテルが近いと、どんなよいことがありますか。 C：ホテルが駅に近いとすぐに見つけて泊まれます。 C：仕事や観光で来た人が、すぐに休めて便利です。 C：荷物を置いて次の目的地に行けます。 C：盛岡駅は、たくさんの路線が通っていて、たくさんの人が利用するから、ホテルもそこに建っていたほうが、たくさんの人に利用してもらえます。	◎駅の周りの建物の様子 (白地図) ◇白地図に色をぬる活動を通して、駅の周りには高い建物が多く、他の地域に比べてホテル等の宿泊施設が多いことをとらえさせる。 ◇利用者数が多い大きな駅であることと、ホテル等の宿泊施設が多いことを関連づけて考えさせる。 ◇ホテルを利用する人にとって便利なことの他に、ホテルを建てる側にとっても利点があることに気づかせる。
10	○盛岡駅の周りの特色についてまとめる。 T：学習問題についてまとめます。みんなで考えて黒板に表したことをもとに、特色を考えましょう。 C：盛岡駅は、5本の路線が通っている大きな駅なので、たくさんの人が利用します。そのため、バスやタクシーも多く、ホテルなどの建物も多く建っているにぎやかなところです。 T：今日の学習を振り返りましょう。 C：盛岡駅にはたくさんの鉄道(路線)が集まり、利用する人がたくさんいます。それで、駅の周りには、お店やホテルが多く、バスやタクシーもたくさん通ります。わたしは、見学の時のインタビューでわかったことを話し合っ、自分たちは聞けなかった遠くから来た観光客の人のことを知ることができてよかったです。今度、家の人ともう一回盛岡駅に行って、学習したことを教えてあげたいです。	◇板書をもとに、盛岡駅の交通の様子と人の様子、建物の様子から、特色をまとめさせる。 ◆駅の周りについて、人の様子や交通の様子、建物の様子を結びつけて特色を考えることができる。 (思・判・表／発言・ノート) ◇振り返りの観点に沿って書かせる。本時の内容の理解と、友達から学んだこと、これからしてみたいことなど、期待する振り返りを発表させ、学びを広める。